



その名もロマンチックな恋路海岸（石川県能登町）に立ったのは、秋晴れで行楽日和の休日。訪れる人はまばらで、悲恋伝説の地にふさわしい感傷的な気分がさせられる。だが、車を止める人はカップルが多い。ドライブデートのコースなのだ。

海岸には、一九六四年に造られた男女の像がたたずむ。能登町ふるさと振興課の担当者は、「由来の時期ははっきりしない」と言うが、この地の七百年前とも八百年前ともいわれる昔、恋に落ちた助三郎と鍋乃の話。恋敵のわなにはめられ、助三郎は海で命を落とし、鍋乃も後を追って身投げしたと語り継がれた。銅像近くにはハートをかたどった鐘のモニュメント。「お約束」の愛の南京錠が付けられる誓いのフェンスも。内陸側には二〇〇五年に廃線になった、のと鉄道・能登線の



▼メモ 恋路海岸（恋路浜）へは、JR七尾駅で、のと鉄道に乗り換え穴水駅まで行き、さらにバスで約1時間半。車は、北陸道・金沢西ICから「のと里山海道」（無料）に移り、地方道などを經由して約2時間半。能登町観光の問い合わせは能登観光情報ステーション ☎0768 (62) 8530、輪島市は輪島市観光協会 ☎0768 (22) 1503

デートスポットが点在

恋路駅がある。かつて、「恋路ゆき」の切符がブームを呼んだ。ホームにノートが置かれ、来訪者がメッセージを寄せている。

恋路駅がある。かつて、「恋路ゆき」の切符がブームを呼んだ。ホームにノートが置かれ、来訪者がメッセージを寄せている。

恋路海岸から三キロほど北上すると、観光名所の見附島（同県珠洲市）がある。沿岸は「えん



ハートの電飾が彩る「せつぷんとんねる」＝石川県輪島市で

に、「恋人の聖地」に認定された怪しげなスポットがある。名称は伝統的な日本語が気を引く「せつぷんとんねる」だ。ずばりの命名に感心したが、実は映画「忘却の花びら」（一九五七年）で話題になったミス・シーンにちなんだ。主役の小泉博さんと司葉子さんが愛を確かめ合ったロケ地。一人でカメラを提げて行くには少し勇気が必要な長さ十数級の手掘りの洞窟だが、二人で通れば恋が成就するとういう。くぐり抜けて振り返ると、ハート形の電飾が…。カップルの皆さま、どっぞご自由に。

縁結びの奥能登

石川県



助三郎と鍋乃の「恋路物語」の銅像＝石川県能登町の恋路海岸で



見附島を望む「幸せの鐘」＝石川県珠洲市で

（小畑一成）